

大きな地しんが起きたときのことを考えよう

1 対象

小学校1年生～3年生

2 ねらい

災害発生時の避難所での生活を知り、自分事として考えるとともに、災害時であっても自分らしく生活する権利があることを知り、自分と他の人を大切にしようとする態度を育てる。

3 準備するもの

- ワークシート
- 資料（教師用）

4 解説

災害発生時は、被災した人に生活の困難が生じ、基本的人権が十分に守られない状況が生じることがあります。特に避難所では、通常の生活で感じたことのない不安やストレスを感じることもあります。このような状況において、高齢者や障がい者、病人やけが人、外国につながる人など、特別な配慮や支援が必要な「災害弱者」と言われる人のみならず、すべての人が安心して避難所生活を送れるように、それぞれの人が自分にできることに努めていきたいものです。

このワークは、「災害弱者」にも含まれる小学校低学年を対象にしています。まず、災害発生時などの状況を知った上で、どうしたら自分らしく安心して避難所で生活できるかを考えます。その上で、災害時においても、自分と他の人を大切に、支え合う態度を育てます。

なお、実際に被災した児童がいるかもしれないことなどをふまえ、被災状況の写真などを示す際は児童の実態や発達段階に応じて配慮することも必要です。

※災害発生時には自宅や自家用車などで避難生活をする場合もありますが、このワークでは対象年齢を考慮し、避難所に限定して考えるようにしています。

5 教科などとのつながり

生活科、総合的な学習の時間、特別活動 など

6 進め方（展開例） 45分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレーキング（8分）</p> <p>「仲間探し」</p> <p>①①～③のお題について、提示された4つの選択肢から1つを選ぶ。</p> <p>②同じものを選んだ人で集まる。</p> <p>③数名が理由を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを説明する。 ・P4「学習の約束」を伝える。 ・「3つのお題」を行う。 ・様々な視点からの意見を引き出せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料（教師用）
<p>・一人ひとり考え方や感じ方が違うこと、お互いの考え方や感じ方を尊重することが大切であることに気づかせる。</p>			

<p>展開 30分</p>	<p>◆アクティビティ（30分） 「大きな地震が起きたときのことを考えよう」</p> <p>①大きな地震が起きたときに、どのようなことが起こるか選択肢ごとに具体的に想像し、自分が困ると思うことについて考える。また、発生時の状況を確認する。 例) 「家が大きくゆれる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家具が倒れてぶつかる ・食器が落ちて割れる ・倒れてけがをする <p>②避難所について知る。</p> <p>③自分が避難所に行くことになったら何を持っていくか考え、ワークシートの1に書く。 例) 自由帳、色鉛筆、本、絵本、カードゲーム、サッカーボール、お菓子 など</p> <p>④4人グループで伝え合い、ワークシートの2に書く。</p> <p>⑤全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティの選択肢を示す。 ・写真を提示し、状況を想像させる。 (児童の実態によっては、写真を使用せずに言葉で説明してもよい。) ・生活が制限され、普段できていることができない状況になることを想像させる。 ・避難所においては制限も多くあるが、自分らしく生活する権利もあることを知らせ、持っていくものを考えさせる。 ・自分だけでなく、他の人も自分らしく過ごせることが必要であることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料（教師用） ・ワークシート
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの話を聞く。 ・授業をとおして、わかったことや考えたことをワークシートの3に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいをおさえ、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート

・災害発生時の避難所であっても、すべての人が自分らしく生活する権利があり、そのようなときこそお互いを大切にしようとする気持ちが大事である。

<参考資料など>

- ・「人権学習ワークシート集 一人権教育実践のために 第17集（小・中学校編）」神奈川県教育委員会（令和5年3月）
- ・「人権学習のための参加体験型学習プログラム 第3集」神奈川県教育委員会（令和3年3月）
- ・「災害写真データベース」一般財団法人消防防災科学センターウェブサイト
<http://www.saigaichousa-db-isad.jp/>



大きな地震が起きたときのことを考えよう

()年 ()組 ()番 名前 _____

1 ひなん所に行くことになったら、何を持って行きたいですか。理由も考えてみましょう。

私は _____ を持っていきます。

理由は _____

_____ だからです。

2 グループの他の人の意見を書きましょう。

()さん _____

()さん _____

()さん _____

()さん _____

3 わかったことや、考えたことを書きましょう。

アイスブレーキング 「3つのお題」 選択肢

- ① 好きな動物 「いぬ」「ねこ」「ことり」「うさぎ」
- ② 好きな遊び 「砂場遊び」「ボール遊び」「おにごっこ」「遊具遊び」
- ③ 好きな乗り物 「車」「自転車」「新幹線」「飛行機」

アクティビティ 選択肢

大きな地震が起きたときに、どのようなことが起こるか具体的に想像し、自分が困ると思うことを考える。

「家が大きくゆれる」「津波がおきる」「電気がつかなくなる」

災害時の状況 例（全体に提示）



地震により倒壊したビル（令和6年）



地震による火災で焼失した街（令和6年）



津波で流された建物（令和6年）



土砂にうもれたバイク（平成23年）



避難所入口（平成29年）



救援物資配付の様子（令和6年）

写真提供：（一財）消防防災科学センター「災害写真データベース」